

簡易調査報告書

減額可能性

(住居表示)	()	所有者	住所 (所在地)	使用者	住所 (所在地)		
所在地番		氏名 (法人名)		氏名 (法人名)			
地目	地積	路線価			地形図及び参考事項		
宅地 原野 畑 山林 []	m ²	正面 円	側方 円	側方 円		裏面 円	
間口距離	m	利用区分	自用地 貸宅地 貸家建付地 借地権 私道	貸家建付 借地権 借地権 借地権 借家人の有する権利	地区区分		
奥行距離	m				ビル街地区 高度商業地区 繁華街地区 普通住宅地区 中小工場地区 大工場地区 普通商業・併用住宅地区		
自用 地 1 平 方 メ ー ト ル 当 た り の 価 額	1 一路線に面する宅地 (正面路線価) (奥行価格補正率)	円 × ()			(1㎡当たりの価額) 円	A	
	2 二路線に面する宅地 (A) [側方 裏面 路線価] () [側方 二方 路線影響加算率]	円 + (円 ×)			(1㎡当たりの価額) 円	B	
	3 三路線に面する宅地 (B) [側方 裏面 路線価] () [側方 二方 路線影響加算率]	円 + (円 ×)			(1㎡当たりの価額) 円	C	
	4 四路線に面する宅地 (C) [側方 裏面 路線価] () [側方 二方 路線影響加算率]	円 + (円 ×)			(1㎡当たりの価額) 円	D	
	5-1 間口が狭小な宅地等 (AからDまでのうち該当するもの) (間口狭小 補正率) (奥行長大 補正率)	円 × (×)			(1㎡当たりの価額) 円	E	
	5-2 不整形地 (AからDまでのうち該当するもの) 不整形地補正率※	円 ×			(1㎡当たりの価額) 円	F	
	※不整形地補正率の計算 (想定整形地の間口距離) (想定整形地の地積) m × m = m ² (想定整形地の地積) (不整形地の地積) (想定整形地の地積) (かけ地割合) (m ² - m ²) ÷ m ² = % (不整形地補正率表の補正率) (間口狭小補正率) (小数点以下2 位未満切捨て) { 不整形地補正率 ①、②のいずれか低い率、0.6を 限度とする。 } (奥行長大補正率) (間口狭小補正率) ① } × = ② }						
	6 無道路地 (F) (※)	円 × (1 -)			(1㎡当たりの価額) 円	G	
	※割合の計算(0.4を限度とする。) (正面路線価) (通路部分の地積) (F) (評価対象地の地積) (円 × m ²) ÷ (円 × m ²) =						
7 かけ地等を有する宅地 [南、東、西、北] (AからGまでのうち該当するもの) (かけ地補正率)	円 ×			(1㎡当たりの価額) 円	H		
8 容積率の異なる2以上の地域にわたる宅地 (AからHまでのうち該当するもの) (控除割合(小数点以下3位未満四捨五入))	円 × (1 -)			(1㎡当たりの価額) 円	I		
9 私道 (AからHまでのうち該当するもの)	円 × 0.3			(1㎡当たりの価額) 円	J		
自用 地 の 評 価 額	自用1平方メートル当たりの価額 (AからJまでのうち該当記号)	地積	総額 (自用1㎡当たりの価額) × (地積)			K	
	() 円	m ²	円				

(※) 本件の調査は相続財産の概要をおおまかに把握することを目的とした机上のみの調査であり、国土交通省による「不動産鑑定評価基準」に則った正規の鑑定評価ではなく、簡易な価格調査によるものです。よって、現地の実際の状況を把握したものと異なる可能性があります。税務署提出用には別途詳細な再調査や正規の鑑定評価等が必要となります。